



2011年4月28日発行

2011年 2号

昭和シェル社友会 四日市支部

支部ホームページ

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~yokkaichi-ob/>

東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様と東北支部の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

東北支部救援募金へのご協力御礼

社友会四日市支部長 添田亮三

去る3月11日発生の巨大地震と大津波に襲われた、東北関東地方の皆様にご心からお見舞い申し上げます。多数の犠牲者の発生と沿岸地域の住宅および公共施設・鉄道・電気・通信・ガスなど主要インフラの甚大な被害と共に、複数の石油精製・貯蔵施設の大火災と緊急停止、流通施設の甚大な被害、そして今なお収束の見えない原子力発電所の重大事故等、一連の事態は、エネルギー産業に携わってきた我々にも大きな衝撃を与えました。

社友会本部は、震災発生直後から会員の安否確認を行うと共に6月の全国大会中止を決め、続いて会長名で被災した「東北支部会員への救援募金」を各支部に要請して参りました。

当支部でも早速協力態勢を整え、3月24日付文書により全会員に募金をお願い致しましたところ、皆様から続々とご厚志が寄せられ、4月28日現在 **応募者数 253名 募金総額 145万7千円**にのびりました。在籍会員の7割を越す方からのご応募は、社友会の原点である会員相互の互恵互助の精神が遺憾なく発揮された結果であると捉えております。温かいご支援を頂いた皆様方に紙上を借りて厚く御礼申し上げますと同時に、社友会の存在理由を改めて認識した次第です。また、多くの会員からは、募金振込用紙に被災地域への激励や在職中に水害や地震に遭遇した際、会社・仲間から受けた援助への思い等熱いメッセージが多数添えられていた事もご紹介しておきます。

お寄せ頂いた募金は、募金者名簿を添付し 4月28日に本部へまとめて送金致しました。

過去幾度もの試練に直面しながら、その都度不死鳥の如く再興を図ってきた日本人の底力を信じ、支援と復興の為に我々がなすべきことは「**目は未来に！ 心は東北に！**」をモットーとして前向きに活動することでしょう。

いたずらに自粛ムードに流されて日本経済の自滅を招くより、災害を免れた中部・西日本が正常に活動し、被災地復興の為に協力することこそが肝要と考えます。

会員の動き

- ◎支部会員数 323名(4月6日現在)
- ◎新入会者 加藤 要一 さん 2月28日
- ◎お悔やみ 藤田 修 さん(78歳) (2月19日)
奥 高一 さん(80歳) (4月4日)

平成23年度 緊急連絡者会議の開催

3月17日午前11時から塩浜クラブ3階で17名が参加して開催されました。

冒頭、支部長から地震災害発生による全国大会中止など最近の社友会活動経過報告があった後、議題に入った。

① 今回の東北関東大震災から緊急連絡者として得るものは何か

- ・大震災が起きると携帯電話を含め、緊急用の通信手段がなくなる
- ・日頃から緊急時の連絡方法を関係者に徹底する方法を考える

② 現行の四日市支部緊急連絡網の見直しに関する討議

緊急連絡者に事前配布された連絡網見直しの要否及び方法等に関するアンケートが当日集計のうえ会議で報告された。この結果を基に、出席者から熱の入った意見が発表された。

時代の変化、家族構成の変化などにより、連絡方法については見直しが必要との結論が得られた。

今後、具体策を幹事会などを通じて論議していくことにした。

今後の支部行事予告

- ① 5月14日(土) ハイキング会 約11km
三岐鉄道保々駅→竹成「五百羅漢」→近鉄中菰野駅
集合：保々駅 午前9時35分
(近鉄富田駅発午前9時11分発が便利)
連絡先：福本 泉・福永 立吉 まで
- ② 8月18日(木) 夏季懇親会 受付:11時45分～
会場：アサヒビアケラー(近鉄四日市駅北口前)
会費：3千円程度
卓話講演者を募集中…趣味、地域活動等テーマは自由です。
問合せ：伊藤泰義・水谷勲 まで

- ③ 10月3日(月)・4日(火) 秋の旅行会
「アルペンルート最高点室堂と金太郎温泉」
会費:22千円程度
弥陀ヶ原～室堂では美しい紅葉、立山を仰ぎながらの「みくりが池温泉」入浴と雷鳥の姿を楽しめそうです。
- ④ 10月8日(土) ハイキング会
東員町コスモスウォークを予定しています。

平成23年度

支部総会・新春懇親会開催

早春の日差しに恵まれた2月5日(土)午前11時から、支部総会と新春懇親会が、例年のとおり塩浜クラブ2階ホールで開催されました。

総会には会員68名が出席、文部長から前期で退任の河戸副文部長と澤野幹事の労をねぎらい、新幹事の伊藤泰義さんと6名の新入会員が紹介された。

長寿慶祝式では、計16名のうち当日ご出席の喜寿6名の会員に慶祝金が支部長より贈呈されました。

その後議事に入り、活動計画、会計予算等が提案され、出席者の賛同を得ました。

新入会員の参加で盛り上がった新春懇親会

総会のあと、櫻井四日市製油所所長をはじめ製油所幹部5名と、中部支部から小野支部長と花岡副支部長が来賓としてご来席され、総勢73名の参加者で懇親会が12時30分から開かれました。

懇親会に先立ち、櫻井所長より昭和シェル石油グループや昭和四日市石油の状況等のお話をいただきました。

フレッシュな会員6名が加わったことで、会場全体の雰囲気が大いに盛り上がりました。



左から: 塩野 副支部長・山本 英亮さん
 已上 一志さん・間島 二郎さん
 前川 忠明さん・本間 智さん
 長谷 茂さん・添田 支部長



恒例の参加者による記念写真

春の日帰り旅行会
 桜の谷汲山・徳山ダムバスツアー

東日本大震災後初の行事となりましたが、計画どおりの開催が決まり、好天に恵まれた4月11日、34名の参加を得て春の旅行会を実施しました。

谷汲山は「西国三十三所観音霊場」の第33番札所で結願・満願霊場となっています。満開の桜が作るトンネルを潜って、本堂で震災被災地の1日も早い復興を祈念しました。

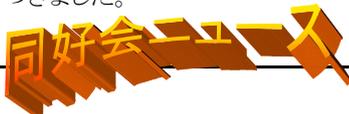
昼食後は、「横蔵寺」で妙心上人の舍利佛(ミイラ)を拝観したあと、揖斐川最上流に位置する「徳山ダム」を見学したあと帰路につきました。

3月度支部幹事会トピックス

- ①3月15日、東日本大震災のため本年度全国大会中止決定、参加予定者に電話で通達。
- ②3月12日、昭四の呼びかけで参加予定の「鈴鹿川クリーン作戦」が津波警報発令により中止。
- ③4月11日に開催計画中の「春の日帰り旅行会」について論議し、計画通り実施を決定。
- ④昭四総務課長が事務局へ来局し、会社の近況を説明
 - ・被災地へ向け、製油所の非常用在庫のマスクなどを送る。
 - ・地震により数カ所の製油所が火災等で緊急停止し、製品不足が発生している。
 - ・四日市製油所第一期建設記録映画「建設譜」フィルムが発見され、フィルムの修復とDVD化が進められている。



谷汲山華嚴寺山門前で



椿大神社への初詣ウォーク

ゴルフ部

4月15日名四CCで15名の会員が参加してコンペを開催しました。優勝は、沼田 清さん 準優勝は、長谷川年英さんでした。10月には、三重CCで開催します。

連絡は佐藤弘二まで。 TEL059-326-0309

ウォーキング部

5月14日(土)、支部のハイキング会を兼ねて三岐鉄道の「保々駅」から「竹成五百羅漢」をたずね菰野の町をめぐる中菰野駅までの11kmを歩きます。この時期、藤の花が見られるかもしれません。

連絡は 福本 泉 TEL059-321-6869
 福永 立吉 TEL059-331-5660

釣り部

2月23日と3月30日鳥羽・矢湾の船釣りを行いました。メバル、ガシなど釣り果は、上々で各々充分楽しみました。

5月には、大アジ釣りに挑戦します。
 参加希望者は、原川孝光まで。 TEL059-326-3287